



内令第百九號
昭和十六年四月第一五四號
ニテ本號廢止

昭和十六年十一月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日
海軍大臣 及 川古志郎

聯合艦隊司令部

整備兵曹、整備兵
三人(掌整備兵(普二))

航 空 兵
二人

内令第百十號
昭和十六年六月第二四三號
ニテ本號廢止

支那事變中左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日
海軍大臣 及 川古志郎

第三根據地隊司令部

第五根據地隊司令部

第六根據地隊司令部

内 令

一〇五

8110

0411

内令

一〇六

特務中少尉、兵曹長 附 二人

内令第百十一號

昭和十七年內令第百十一號ニテ本職廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

横須賀海軍航空隊

航空兵曹 (教員)

十六人 (掌航空兵器兵、高雷爆一六)

航空兵曹、航空兵

二十八人 (掌航空兵器兵、普雷爆一四)

内令第百十二號

昭和十八年內令第百十二號ニテ本職廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦千代田



0412

内令提
登載

中 佐 乗組 一人

内令第百十三號

昭和十五年内令第八百二十八號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

岩國海軍航空隊ノ項ニ左ノ一號ヲ加フ

三 飛行練習生（偵察術専修）ニ對スル練習機教程ノ教育並ニ其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究及調査

參照 昭和十五年内令第八百二十八號ハ海軍練習航空隊ノ所掌事項ヲ定ムルノ件ナリ

内令

一〇七

0413

内令
登載

内令第百十四號

内南洋群島沿海警備ノ指揮ニ關シ左ノ通定メラル

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

横須賀鎮守府司令長官部下艦船ヲ警備ノ爲内南洋群島沿海ニ派遣スル場合ハ當該艦船ヲシテ警備ニ關シ第四艦隊司令長官ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス

内令第百十五號

第六潜水隊

横須賀鎮守府練習潜水艦

呂號第五十七潜水艦

呂號第五十八潜水艦

呂號第五十九潜水艦

右練習ノコトニ關シテハ海軍潜水學校長ノ指揮ヲ受ケシメラレタル處之ヲ解キ練習ノコトニ關シテハ海軍兵學校長及海軍潜水學校長ノ指揮ヲ受ケシメラル

内令

一〇九

0414

内令

一一〇

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

内令第一百六號

吳鎮守府特別役務特務艦

特務艦 隱 戸

佐世保鎮守府特別役務特務艦

特務艦 野 島

右在役特務艦卜定

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

内令第一百七號

昭和十五年内令第八百九十五號各種戦闘作業實施區分並ニ主要研究項目ノ件中別紙ノ通改正ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

(別紙ハ所要ノ向ニ配付)

0415

内令第百十八號

別紙實施要領ニ依リ昭和十六年第二回研究通信ヲ實施ス

別紙ハ海軍省教育局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

内令

一一一

0416

廢止

廢止

内令第一百十九號 昭和十七年内令第三五四號
ヲ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

佐世保海軍航空隊

整備兵曹、整備兵

二十五人 (掌整備兵〔高一七八〕)

航 空 兵

三十五人

内令第一百二十號

昭和十六年内令第一六二號
ニテ本號廢止

昭和十六年十一月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

海軍航空技術廠

航 空 兵 曹

四人 (掌航空兵〔操縦二〕
偵察二)

内 令

一一三

0417

内令

内令第二百二十一號

支那事變中左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

特設捕獲網艇

主計兵

一人

一四

0418

内令第百二十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月一日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦白鷹

兵曹、水兵

一人(掌帆兵、普)

内令

一一五

0419

内令
登載

内令第二百二十三號

昭和十五年内令第九百號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

横須賀鎮守府ノ部中「第一潜水隊」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ「伊號第十八潜水艦」ノ項ヲ削ル

第二潜水隊

一(伊一八)

横須賀鎮守府
第一特別陸戰隊

一 八

ヲ

横須賀鎮守府
第一特別陸戰隊

二 八

ニ改ム

舞鶴鎮守府ノ部中「第二港務部」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二防備隊

七

参照 前記内令ハ分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムルノ件ナリ

内令

二一七

0420

内令第二百二十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

第四艦隊司令部

機 關 兵 曹

一人(特修兵適宜)

内令第二百二十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦青葉、衣笠

機關兵曹、機關兵

九人

掌電機兵	掌機兵
普高 一一	普高 一五

0421

内令第二百二十六號

昭和十五年内令第九百二十三號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 科 尉 官 隊附 一人

特務中少尉、兵曹長 隊附 二人(横須賀、吳鎮守府在籍者各一人)

兵 曹 隊附 八人(掌砲兵(各鎮守府在籍者各二人))

兵 曹、水 兵 七十人
掌砲兵 三三 (横須賀鎮守府在籍者 八人、吳鎮守府在籍者 六人)
 掌信號兵、普四 (各鎮守府在籍者各一人)

水 兵 十六人(掌砲兵、普八 (各鎮守府在籍者各四人))
無 章 三四 (横須賀、吳鎮守府在籍者各九人、舞鶴鎮守府在籍者 七人)

参照 前記内令ハ當分ノ間横須賀海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一一九

0422

内令第二百二十七號

昭和十三年内令第六十三號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

「上海方面根據地隊司令部」ヲ「第一海軍工作部」ニ改メ末尾ニ「本人員ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス」ヲ加フ

参照 昭和十三年内令第六十三號（昭和十四年内令第三百八十九號、同年内令第九百十號及同十五年内令第二百六十一號改）
ハ上海方面根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二百二十八號

昭和十三年内令第六百四十八號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

特務中少尉、兵曹長 附 一人

0423

機關特務中少尉、機關兵曹長	附	一人
兵 曹、水 兵		七十四人
機 關 兵 曹、機 關 兵		三十八人
看 護 兵 曹、看 護 兵		一人
主 計 兵 曹、主 計 兵		四人
		特修兵適宜

參照 昭和十三年內令第六百四十八號（昭和十三年內令第七百四十七號、同十四年內令第三百八十三號及同十五年內令第九百十號改）ハ上海方面根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

內令第二百二十九號

昭和十三年內令第八百五十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海 軍 大 臣 及 川 古 志 郎

「上海方面根據地隊司令部（拿捕船錦江ノ乗員ニ充ツルモノ）」ヲ「第一海軍工作部（工作船早瀬乗員ニ充ツルモノ）」ニ改メ「本人員中特務士官以下ハ佐世保鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス」ヲ削ル

內 令

一一一

0424

内令

一一二

参照 昭和十三年内令第八百五十七號（昭和十四年内令第九百十號改）ハ上海方面根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百三十號

昭和十四年内令第千三十二號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及川古志郎

「上海方面根據地隊司令部」ヲ「第一海軍工作部（工作船飛渡瀬乗員ニ充ツルモノ）」ニ改メ人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 曹 長 附 一人

機關兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 二十人（掌砲兵一、掌帆兵一、掌信號兵二、掌電信兵三）

機關兵曹、機關兵 二十二二人（掌機兵、罐二）

看護兵曹、看護兵 一人

主計兵曹、主計兵 三人（掌經理兵一）

0425



本人員ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

參照 前記内令ハ上海方面根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百三十一號

昭和十七年四月三十九日
テ六日
止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

特設掃海母艦射水丸

主計兵曹、主計兵

二人(掌衣糧兵一)

内令第三百三十二號

昭和十六年四月廿四日
テ六日
止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

内令

一三三

0426

内令

第五戦隊司令部

中 少 佐

機關少佐、機關大尉

參謀

附

一人

一人

一三四

0427

内令
登載

内令第三百三十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

驅逐艦、一等陽炎型ノ項中「萩風」ノ下ニ「舞風」ヲ加ヘ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

夕雲型 夕雲

潜水艦、一等伊九型ノ項中「伊號第十」ノ下ニ「伊號第十一」ヲ加フ

驅潜艇第十三號型ノ項中「第十六號」ノ下ニ「第十七號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令
登載

内令第三百三十四號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及 川古志郎

内令

一三五

0428

内令

二二六

運送艦ノ項中「宗谷」ノ下ニ「伊良湖」ヲ加フ

(内令提要卷三、三九頁参照)

内令第三百三十五號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

驅逐艦 舞風
驅逐艦 夕雲

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

伊號第十一潜水艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス

第十七號驅潜艇
特務艦 伊良湖

昭和十六年二月五日

海軍大臣 及川古志郎

0429

内令
要
登
載

内令第三百三十六號
軍樂隊配置表中左ノ通改正ス
昭和十六年二月七日

海軍大臣 及川古志郎

備考第六號中「置ク」ヲ「置キ之ヲ海軍軍樂隊東京分遣隊ト稱スルコトヲ得」ニ改ム

(内令提要卷一、四五六ノ一三頁参照)

内令

一三七

0430

内令第三百三十七號

昭和十二年内令第五百二十六號、昭和十四年内令第六百三十四號、

十五年内令第八百七十三號ハ之ヲ廢止ス^(解)

昭和十三年内令第六百七十五號中第一聯合航空隊司令部ノ項ヲ削ル

昭和十五年内令第八百九十一號中「第四聯合航空隊司令部」ヲ「第二十四航空戰隊司令部」ニ、「第

一聯合航空隊司令部」ヲ「第十一航空艦隊司令部」ニ、「第二聯合航空隊司令部」ヲ「第二十二航

空戰隊司令部」ニ改ム

本令ハ昭和十六年一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年二月八日

海軍大臣 及川古志郎

參照 前記内令ハ第一聯合航空隊司令部等ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令

一三九

0431



内令第三百三十八號

昭和十六年内令 第五〇九號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十日

海軍大臣 及 川古志郎

高雄海軍通信隊（臺北在勤海軍武官府ニ派遣スルモノ）

兵 曹、水 兵 二人（掌電信兵二）

内 令

一三一

0432



内令
要
登
載

内令第三百三十九號 (所要ノ向ヘ配付) 一號ニ依リて

内令第四百十號

昭和十六年三月三十一日
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年二月十日

海軍大臣 及 川古志郎

馬公要港部

増員

機關少佐、機關大尉

分隊長

一人

(機關科特務士官ヲ以テ充ツルコトヲ得)

減員

機關少佐、機關大尉

分隊長

兼務一人

機關特務中少尉

附

一人

内令第四百四十一號

昭和十五年内令第九百號中左ノ通改正ス

内令

一三三

0433

内令

昭和十六年二月十日

海軍大臣 及川古志郎

佐世保鎮守府ノ部中

馬公(部員)
要港部

ヲ

馬公(部員)
要港部

ニ改ム

参照 前記内令ハ分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムルノ件ナリ

一三四

0434



内令第四百十二號

昭和十七年二月十三日
海軍省令第三百三〇號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十三日

海軍大臣 及 川古志郎

伊號第九潜水艦

看護兵曹 一人

主計兵 一人(掌理兵)

内令

一三五

0435



内令第四百十三號

昭和十六年二月十四日
ニテ本號廢止

吳鎮守府第一特別陸戰隊及佐世保鎮守府第一特別陸戰隊ノ職員ニシテ海南島ニ派遣セラレタル者ハ其ノ派遣期間辭令等ヲ用ヒズシテ第二遣支艦隊司令部附兼務トシ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年二月十四日

海軍大臣 及 川古志郎

内令第四百十四號

昭和十三年内令第八百八十一號中「會寧丸」及「掌電機兵一」ヲ削ル

昭和十三年内令第九百六十八號中「掌電機兵一」ヲ削ル

昭和十六年二月十四日

海軍大臣 及 川古志郎

參照 前記内令ハ特設砲艦小型八〇〇噸以上一、三〇〇噸未満、蒸汽機關裝備ノモノニ特修兵臨時増置ノ件ナリ

内令

一三七

0436

内令
要
登
載

内令

内令第四百十五號

特設艦船部隊特修兵配置表中左ノ通改正ス

昭和十六年二月十四日

海軍大臣 及 川古志郎

別表特設砲艦ノ部中小型一、八〇〇噸以上
三〇〇噸未満 蒸汽機關及小型八〇〇噸未満蒸汽機關ノ各項掌電機兵普
ノ欄「〇」ヲ「一」ニ改ム

(内令提要卷一、五八二頁参照)

一三八

0437

内令
要登載

内令第四百十六號

昭和十五年内令第八百九十八號表中「高崎」ヲ「瑞鳳」ニ改メ「國後」ノ下ニ「石垣」ヲ加フ

昭和十五年内令第九百號佐世保鎮守府ノ部中「高崎」ヲ「瑞鳳」ニ改ム

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

參照 昭和十五年内令第八百九十八號ハ當分ノ間艦船部隊ノ科長兼分隊長タル職員缺員中當該科ノ特務大尉ヲ分隊長トシテ臨時増設ノ件、昭和十五年内令第九百號ハ分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムルノ件ナリ

内令第四百十七號

昭和十五年内令第四百二十四號中「國後」ノ下ニ「石垣」ヲ加フ

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

參照 前記内令ハ軍艦自衛隊等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令

一三九

0438

廢止

内令

内令第四百四十八號

昭和十六年冬 第四七七號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦山城

兵科尉官 乗組 二人

機關科尉官 乗組 二人

主計科尉官 乗組 二人

軍艦那智、羽黒

兵科尉官 乗組 一人

軍艦北上

兵科尉官 乗組 一人

機關科尉官 乗組 一人

一四〇

0439

内令
要
登
載

内令第四百十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

第四艦隊司令部

大 佐 附

兼務一人(南洋群島在勤海軍武官ノ兼務)

内令第五百十號

海軍燃料貯藏場所所在地及所屬ヲ別表ノ通改正ス(濟) 昭和十六年二月十五日 第五十號

別表ハ海軍省軍需局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

(内令提要卷一、三〇頁参照)

内令

一四二

0440

内令
安登載

内令第五百一十一號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

軍艦 石垣

舞鶴鎮守府在籍

軍艦 石垣

右警備艦ト定メラル

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及川古志郎

内令
要登載

内令第五百十二號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及川古志郎

海防艦定員表共ノ三中「國後」ノ下ニ「石垣」ヲ加フ

(内令提要卷一、三五二頁参照)

内令

一四三

0441

内令

内令
登載

内令第五十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及川古志郎

特修兵配置表共ノ十二中「國後」ノ下ニ「石垣」ヲ加フ

(内令提要卷一、四四三頁参照)

内令
登載

内令第五十四號

昭和十五年内令第八百九十八號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及川古志郎

表中「八雲」ノ下ニ「磐手」ヲ加フ

参照 前記内令ハ當分ノ間艦船部隊ニ於ケル科長兼分隊長タル職員缺員中當該科ノ特務大尉ヲ分隊長トシテ臨時増置スル件ナリ

0442

内令第五百五十五號

昭和十五年内令第九百號中左ノ通改正ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

横須賀鎮守府ノ部中

假ケケ 海軍航空隊	一	二	一
--------------	---	---	---

假ケケ 海軍航空隊	一	三	一
--------------	---	---	---

ニ改メ

「第十三號驅潛艇」ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

第十四號 驅潛艇	一
第十五號 驅潛艇	一

佐世保鎮守府ノ部中「第二十一驅潛隊」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第十六號 驅潛艇	一
-------------	---

参照 前記内令ハ分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令

一四五

0443

内令第五百五十六號

未成ノ驅潛艇第十四號、第十六號定員表（假定）ハ驅潛艇第十三號ノ定員及特修兵ノ員數ト同一ト

ス

昭和十六年二月十五日

海軍大臣 及川古志郎

内令

一四七

0444



内令第五百五十七號

昭和十六年内令第七〇三號
ニテ本號廢止

昭和十六年度水雷術水中測の特技兵(假稱)講習期間中左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十七日

海軍大臣 及川古志郎

海軍水雷學校

特務 大 中 尉 教官兼分隊長 一人

特務中少尉、兵曹長 附兼教官(教員) 二人

兵 曹 (教員) 十五人(掌水雷兵、水測)

主 計 兵 六人

内令第五百五十八號

昭和十六年内令第七〇三號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月十七日

海軍大臣 及川古志郎

馬公要港部(高雄ニ於テ勤務スル者ニ充ツベキモノ)

内令

一四九

(内令第五百五十六號ハ後送ス)

0445

内令

看護兵曹 二人
看護兵 一人

一五〇

0446

内令
登載

内令第五十九號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス

別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年二月十八日

海軍大臣 及川古志郎

○正誤

本年内令第三百三十七號中「内令第三百二十五號及同年」ハ衍(濟)

内令

一五二

0447

内令第六十號

吳鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 薄 雲

右豫備驅逐艦ノ儘舞鶴防備隊ニ附屬セシメラル

昭和十六年二月二十日

海軍大臣 及川 古志郎

内令

一五三

0448



内令第六十一號 昭和十七年内令第六十七號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年二月二十一日

海軍大臣 及川吉志郎

第四防備隊

第五防備隊

減員

機關兵曹、機關兵 一人(掌電機兵、普電機一)

増員

機關兵曹、機關兵 一人(掌機兵、普内火一)

内令第六十二號

昭和十六年内令第六十九號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月二十一日

海軍大臣 及川吉志郎

内令

一五五

0449

内令

海軍砲術學校

特務大 中尉

教官兼分隊長

二人

特務中少尉、兵曹長

附兼教官(教員)

四人

一五六

0450

廢止

改正

内令提
委
登
續

内令第六十三號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第六十四號 昭和十六年内令第四三〇號
ニテ本號廢止

第二艦隊ノ平時任務ノ臨時特例ニ關スル件左ノ通定メラル

昭和十六年二月二十五日 海軍大臣 及 川古志郎

當分ノ間第二艦隊ハ艦隊平時任務ノ外其ノ一部ヲ以テ海軍少尉候補生ノ練習ニ任ジ兼テ海軍機關少尉候補生及海軍主計少尉候補生ノ練習ニ任ズ
前項ノ練習ニ任ズル部隊ハ之ヲ實務練習部隊ト稱スルコトヲ得

内令第六十五號 昭和十七年内令第五三一號
ニテ本號改正

特設海軍氣象部令左ノ通定メラル

昭和十六年二月二十五日 海軍大臣 及 川古志郎

特設海軍氣象部令

第一條 特設海軍氣象部ハ戰時若ハ事變又ハ必要ニ應ジ作戰地等ニ之ヲ設置ス

内令

一五九

045.1

特設海軍氣象部ノ所管、名稱及所在地ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 特設海軍氣象部ハ別ニ定ムル所ニ依リ艦隊又ハ鎮守府ニ屬シ氣象ノ觀測、通報、研究及調査ニ關スルコトヲ掌ル

第三條 特設海軍氣象部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

部員

附 士官、特務士官、准士官、下士官、兵
高等文官、判任文官

前項ノ職員ハ場合ニ依リ其ノ一部ヲ置カズ又必要ニ應ジ附トシテ軍屬其ノ他特種ノ人員ヲ置ク

第四條 部長ハ艦隊司令長官又ハ鎮守府司令長官ニ隸シ部務ヲ總理ス但シ技術上ノコトニ關シテハ水路部長ノ區處ヲ受ク

第五條 部長ハ部下ノ職員缺員中又ハ事故アルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第六條 部長缺員中又ハ事故アルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス但シ艦隊司令長官又ハ鎮守府司令長官特ニ代理者ヲ置キタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

0452

内令
要
登
載



第七條 部員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第八條 海軍大臣ハ必要ニ應ジ特設海軍氣象部ノ觀測所ヲ置キ第二條ニ規定スル事項ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

内令第六十六號 昭和十七年内令第五三三號ニテ本號廢止

特設海軍氣象部處務規程左ノ通定ム

昭和十六年二月二十五日

海 軍 大 臣 及 川 古 志 郎

特設海軍氣象部處務規程

- 第一條 部長ハ氣象ノコトニ關シ氣象臺及測候所ト直接連絡スルコトヲ得
- 第二條 部長ハ氣象ノ觀測及通報ニ關シ艦船部隊ト直接連絡スルコトヲ得
- 第三條 部長ハ部務整理ノ爲部内ノ服務内規ヲ定メ艦隊司令長官又ハ鎮守府司令長官ノ承認ヲ受ケ之ヲ實施スルコトヲ得

内 令

一六一

0453

内令

一六二

第四條 特設海軍氣象部令第六條ノ規定ニ依リ部長ノ職務ヲ代理シタルトキハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第五條 左ノ地ニ特設海軍氣象部ノ觀測所ヲ置ク其ノ呼稱及分掌事項左ノ如シ

觀測所ヲ置ク地	呼稱	分掌事項
南洋群島ウルシ	第四海軍氣象部第一觀測所	氣象ノ觀測ニ關スル事項
南洋群島ソロール	第四海軍氣象部第二觀測所	氣象ノ觀測ニ關スル事項
南洋群島ウジャエ	第四海軍氣象部第三觀測所	氣象ノ觀測ニ關スル事項
南洋群島クサイ	第四海軍氣象部第四觀測所	氣象ノ觀測ニ關スル事項

附則

本令ハ昭和十六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

内令
第六十七號
要登載

内令第六十七號

特設海軍氣象部ノ所管、所屬、名稱及所在地左ノ通定メラル

0454

内令
登載

昭和十六年二月二十五日

海軍大臣 及 川古志郎

所管	所屬	名稱	所在地
横須賀鎮守府	第四艦隊	第四海軍氣象部	パラオ

附則

本令ハ昭和十六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

内令第百六十八號

特設海軍氣象部ノ定員別表ノ通定メラル

附則

本令ハ昭和十六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年二月二十五日

海軍大臣 及 川古志郎

(別表一葉添)

内令

一六三

0455

(別表)

(昭和十六年内令第六十八號)

考 備	計		部 員	長	特設海軍氣象部定員表
	高 等 文 官	士 官	技 師	大 佐	
	兼務一人	二人	兼務一	一	
一 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得 二 本表ノ外必要ナル軍人共ノ他特種ノ人員ヲ置クコトヲ得	判 任 文 官		技 手		第四海軍氣象部
					兼務十
		兼務十人			第四海軍氣象部

0456

内令第百六十九號

昭和十六年九月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年二月二十五日

海軍大臣 及 川古志郎

第一驅逐隊

兵 曹、水 兵

二人(掌電信兵)

内 令

一六五

0457

内令
登載

内令第七十號

右特設巡洋艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船 金城山丸 2.3

右特設航空機運搬艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラル

汽船 りねん丸 1.13

右特設潜水母艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラル

汽船 さんとす丸 1.24

右特設潜水母艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船 名古屋丸 1.20

漁船 第五宮久丸 2.3

漁船 海形丸 2.21

漁船 海運丸 2.26

右特設監視艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 松榮丸 1.13

内令

一六七

0458